

## 第37回関西広域連合委員会の概要

平成25年9月24日  
関西広域連合本部

○日 時：平成25年9月21日（土） 10：20～12：20

○場 所：リーガロイヤルNCB 2F 松の間

○出席者：井戸連合長、仁坂副連合長、嘉田委員、山田委員、松井委員、橋下委員、矢田委員、  
林副委員、熊谷副委員、藤田副委員、田村副委員

### ○議事概要

#### 1 協議事項

##### ① 台風第18号被害への対応について

- ・大雨特別警報が発令された滋賀県、京都府、京都市から被害状況について報告があった。今後、被害状況を取りまとめ、災害ボランティアの派遣、家屋被害認定への支援などの支援活動を行うこととした。
- ・また、直轄河川の早期改修や被災者生活再建支援制度の見直しなど、被災地の要望を取りまとめ、関西広域連合として、国に要望していくこととした。

##### ② 香港等トッププロモーションの実施結果について

- ・香港、広東省で行った観光トッププロモーションの実施結果について報告があった。
- ・広東省での意見交換で話題のあった、中国から日本を訪問するときの査証発給要件の緩和について、国に申し入れることを決定した。

##### ③ ワールドマスタースゲームズ2021年大会について

- ・8月の連合委員会でワールドマスタースゲームズ2021大会の関西での開催をめざす、としたことを受け、今月中に準備委員会を設置し、その場で、国際マスタースゲームズ協会（IMGA）への正式な申し入れを協議することを確認した。
- ・関西版マスタース大会については、制度設計等を検討するため、関西広域連合にプロジェクトチーム（事務局：兵庫県教育委員会）を設置することとした。

##### ④ 次期広域計画中間案について

- ・広域環境保全の「低炭素社会づくりの推進」について、再生可能エネルギーの導入促進などを盛り込むこととなり、項目等について、今後、修正を行うこととなった。
- ・また、最終案に向け、引き続き、精査することとなった。

##### ⑤ 関西の地域ブランディングにおけるコア・コンセプトについて

- ・関西経済連合会が提唱する「はなやか関西」を、官民が共同で取り組む「関西」の地域ブランディングのコア・コンセプトとすることを決定した。

##### ⑥ 関西広域連合文化振興指針（案）について

- ・関西をこれまで以上に、わが国の文化の中心とすべく「文化首都・関西」の実現をめざし、さらに、世界を視野に「アジアの文化観光首都」としての発展を目指す、「関西広域連合文化振興指針」について、原案どおり決定した。
- ・文化に関する府県市の事業を活用し、関西の象徴となるような統一的な事業の実施について、今後、広域観光・文化振興局で検討することとなった。

##### ⑦ 関西広域農林水産業ビジョン（案）について

- ・地産地消運動の推進による域内消費拡大や国内外への農林水産物の販路拡大など、6つの戦略を取りまとめた「関西広域農林水産業ビジョン」について、原案どおり決定した。今後、11月広域連合議会に提案する予定。

##### ⑧ 関西広域連合エネルギープラン（中間案・素案）について

- ・関西における望ましいエネルギー社会の実現に向けて、基本的な考え方、今後の予定等について報告があった。
- ・再生可能エネルギーの確保など数値目標の設定について、今後検討することとなった。

⑨ 国から地方への事務・権限の移譲について

- ・政府・地方分権改革推進本部において、約100項目の国（出先機関）の事務・権限の地方への移譲に関し、関西広域連合を受け皿として活用できないかという視点から、課題や問題点について研究することとなった。

⑩ 北陸新幹線（敦賀以西）ルートに関する提案について

- ・4月に広域連合で取りまとめた、「北陸新幹線（敦賀以西）ルート提案に係る取組方針」に基づく国への提案について、原案どおり決定した。今後、井戸広域連合長、嘉田委員により、国への要請活動を実施することとなった。
- ・リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期全線同時開業について、関係者への働きかけなどの取組を調整してていくこととした。

⑪ 平成26年度予算編成方針について

- ・平成26年度予算について、新たな広域計画への対応、柔軟な執行方法の活用等5つの視点に基づき予算編成することを確認した。

2 報告事項

① 道州制のあり方研究会について

- ・9月9日に開催された第6回会合の結果（社会保障（生活保護制度、医療制度）を通じた論点）について報告があった。

② 広域防災ポータルサイトの開設について

- ・大規模災害時の情報発信・共有等に活用するため、「広域防災ポータルサイト」を9月20日に開設したことについて報告があった。

③ 国家戦略特区への共同提案について

- ・関西としてポテンシャルを有する再生医療や健康関連産業振興プロジェクトなど4つのプロジェクトを国に提案したことについて報告があった。なお、国においてプロジェクト候補案の絞り込みが行われ、10月中旬には、第一次実施特区を決定される予定。

④ 「おいしい！KANSAI応援企業」について

- ・地産地消運動の趣旨に賛同する企業を登録する「おいしい！KANSAI応援企業」制度を今年度創設し、第1回目の申し込みで5企業の登録があったことについて報告があった。

⑤ 今夏の電力需給状況について

- ・節電期間開始後の電力需給状況について、安定した需給状況が確保できていること、日々のピーク需要と気温の関係から解析すると、平成22年と比べて平均約10%減少していることについて報告があった。

⑥ 広域連合協議会委員の任期満了に伴う委員の委嘱について

- ・広域連合協議会委員の任期満了（平成25年9月23日）等に伴い、新たに委員59名（再任44名（公募委員除く））を委嘱することについて報告があった。